様式4

都市再生整備計画　フォローアップ報告書

宇都宮駅周辺地区

平成24年9月

栃木県宇都宮市

1. 数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4－① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価						フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		目標達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	宇都宮駅乗降客数	人／日	70,000	72,000	68,320	確定		△	あり		68,046	H24年7月	△	東日本大震災や原子力発電所の事故の影響などにより観光入込客数が減少した。	■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	長引く不況や東日本大震災等の影響により目標は達成できなかったが，交通結節機能の強化等に取り組んだことで，従来の減少傾向に比べると，減少は緩やかになった。
						見込み	●		なし	●						
指標2	今泉地域ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ年間利用回数	回／年	260	390	429	確定		○	あり		418	H23年5月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	今泉地域コミュニティセンターを整備したことにより，市民の地域交流活動が定着した。
						見込み	●		なし							
指標5	東大通り通行量	人／日	3,300	4,200	4,141	確定		△	あり	●	4,396	H23年5月	○		□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業等による基盤整備が整ったことで，周辺にオフィスビル等が建築されたほか，道路整備等による安全で安心な歩行空間が整備されたことで，歩行者通行量が増加した。
						見込み	●		なし							

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4－② その他の数値指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	駅東口地区における放置自転車撤去台数	台／回	26.3		5.4	確定				4.8	H23年5月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	宇都宮駅東口自転車駐車場整備等による交通結節機能の強化や，道路整備等により，安全で安心な歩行空間が整備されたため，放置自転車撤去台数が減少した。
						見込み	●								
その他の数値指標3						確定					H 年 月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み									

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート　添付様式5－③に記載した今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題　その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	交通結節機能の更なる向上	・レンタサイクル事業（電動アシスト自転車の導入） ・乗降場の誘導員による利用ルールの周知及び交通誘導 ・宇都宮駅西口駐輪場の拡充 ・バス乗り場案内板システムの設置	レンタサイクル事業や自転車の利便性向上施設の整備等による自転車利用者の増加や駅前広場乗降場の誘導員配置による交通誘導など駅前広場の利便性向上が図られた。	更なる自転車利用者の増加や渋滞対策など引き続き利便性向上に努める。
	ユニバーサルデザインの空間作り	・懇談会等における駅周辺整備に係る検討	駅周辺の整備に係る外部懇談会等において，ユニバーサルデザインを含め，駅周辺整備に向けた検討が進められている。	懇談会等における意見を踏まえ，立地施設や公共施設の整備にあたっては，本地区を訪れる人々が誰でも快適に利用できるようユニバーサルデザインの考え方に基づいた環境づくりを図る。
	憩いの空間の形成	・宇都宮駅東駅前広場周辺の花苗の植え付けやプランターの設置による美化活動の実施	駅周辺の歩行空間の環境美化により，都市環境の改善が進んでいる。	本市のシンボルとなる建物や交流広場などの公共施設の整備や重点的な緑化により，新たな都市拠点にふさわしい風格と潤いある都市景観の形成や良好な都市環境の向上を図る。
	市民交流活動の促進	・都心部居住促進事業 ・市街地再開発事業 ・駅西口まちづくり協議会設立	駅西口まちづくり協議会の設立など市民，団体等のまちづくりへの参画意識が高まった。	今後も引き続き市民や企業，団体等のまちづくりへの参画や交流活動の促進を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他　必要な改善策	**来街者の増加** 賑わい創出のため，広域交通の要衝地という立地特性を生かした広域的な交流を促進する拠点の形成や多様な機能集積により，来街者の増加を図る	・宇都宮駅東口地区整備事業用地の暫定活用の実施	民間事業者による事業用地の暫定活用により，飲食店舗などが整備されたことで，東大通り通行量が増加している。	広域交通の要衝地という立地特性を活かした広域的な交流を促進する新たな拠点の形成や多様な機能集積により，来街者の増加を図る。
	自動車依存からの脱却 低酸素型の環境にやさしいまちづくりを推進するため，多様な交通手段によるアクセス性の向上，自転車も含めた環境負荷の小さな公共交通の利用促進を図り，過度な自動車依存からの脱却を図る	・レンタサイクル事業 ・自転車利活用促進事業	自転車利活用促進事業などにより，市民・来街者の自転車利用機会が創出されている。	宇都宮都市拠点地区への区域編入による2期計画において，多様な交通手段によるアクセス性向上を図るとともに，公共交通等の利用促進による環境にやさしいまちづくりに取り組んでいく。
	居住人口の増加 住民は賑わいの源となることから，本地区を含む都心部の居住人口を増加させるため，さらに都心居住の促進を図る必要がある。	・都心部居住促進事業 ・市街地再開発事業	若年夫婦世帯家賃補助事業や市街地再開発事業などの都心居住の促進策により，居住人口が増加した。	宇都宮都市拠点地区への区域編入による2期計画において，居住実態（世代，域内外転入状況など）を踏まえ，生活支援機能の集積による快適なまちなか暮らしの支援など，居住促進の取組を推進する。

事後評価シート　添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題　その他特記事項

都市再生整備計画（精算報告）

宇都宮駅周辺地区

うつのみやえきしゅうへん

栃木県　宇都宮市

うつのみや

平成２４年９月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	栃木県	市町村名	宇都宮市（うつのみやし）	地区名	宇都宮駅周辺地区（うつのみやえきしゅうへんちく）	面積	71 ha

計画期間	平成 18 年度 ～ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ～ 平成 22 年度

目標

大目標：北関東をリードするひと・もの・文化の交流するゲートシティの形成

県都・宇都宮の玄関口として，ひと・もの・文化が活発に交流し，安全で安心なまちづくりを行う。

目標1：北関東最大のターミナル駅に相応しい交通結節機能の強化

目標2：地域の魅力を向上し，ひと・もの・文化が活発に交流するまちづくり

目標3：すべての人にやさしく安全で安心なまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

宇都宮市は，古くから門前町，宿場町，城下町として栄え，県都として農・工・商の均衡の取れた産業都市に成長し，現在は教育・文化・業務などの総合的な都市機能が集積した広域都市圏の中核都市として発展を続けている。

本地区は，栃木県最大のターミナル駅・宇都宮駅を中心とする広域交通の要衝に位置しており，駅西口には県内の政治・経済・文化の中心である商学・業務施設が集積し，駅東口はテクノポリス等の全国有数の高度技術産業ゾーンの玄関口となっている。

【現況】

○大規模商業施設等の撤退や郊外移転，文化・教育施設の郊外分散化により，中心市街地の空洞化が進行している。

○宇都宮駅は7万人が乗降する北関東屈指のターミナル駅であり，公共交通の結節点であるが，路線バスの西口への偏在（運行本数は西口9割，東口1割）等により，その機能が十分に発揮されておらず，また自動車交通依存型の社会となっている。

○大規模空閑地があり，有効な活用がなされていない。

○本地区及び本地区周辺は，古くから門前町，宿場町，城下町として栄えた地域であり，旧篠原家住宅，田川や宮の橋等の地域資源が点在している。

○本地区を含む都心部では，老朽住宅等密集地改善の遅れなど，住環境の悪化により，居住人口は最近15年間で2割減少しており，また高齢化が進展している。

【市民ニーズ】（H15市民アンケートモニター意識調査）

○活性化が必要な場所として，宇都宮駅周辺を挙げる人が7割を超える。

○宇都宮駅周辺の活性化に必要なものとして，「魅力ある商業施設」（24.1%），「駐車場」（23.0%），「文化施設などの活動する場」（12.7%）が挙げられている。

○宇都宮駅東口に望む施設として，「鉄道やバスなどの乗換に便利な交通広場」（17.4%），「ゆったりと過ごせる公園・広場」（13.3%），「色々な催しができるホール」（10.6%）が挙げられている。

【まちづくりの経緯】

○平成11年3月に市民参画の懇談会における意見を踏まえた「中心市街地活性化基本計画」を策定し，中心市街地活性化の方向性を示した。さらに，パブリックコメントや商工会議所との意見交換を踏まえ，より具体的な中心市街地の姿と戦略的事業等の大枠を示した「宇都宮都心部グランドデザイン」を策定した。その後，市民が主体となったまちづくりを進めるため，学識経験者や市民を交えた懇談会を開催し，宇都宮駅周辺の整備について検討した。

○新たな拠点として整備を進める宇都宮駅東口地区については，公民パートナーシップ型事業を推進している。また，有識者等を交えた「宇都宮駅東口整備検討協議会」，パブリックコメント等を実施し，まちづくりの基本方針となる基本計画を策定した。

○宇都宮駅東地域の活性化や交通問題等の諸課題の改善を目的としたNPOである駅東まちづくり21が設置され，花みずきフェスタ等のまちづくり活動が実施されている。

課題

宇都宮市の発展を支える広域交流の拠点として，交通結節機能の強化，賑わいの創出が喫緊の課題である。

○自動車交通依存に因る交通渋滞，交通事故や環境問題解決のため，交通体系の再構築が必要である。

○高齢者や来街者に配慮した歩行空間の確保やバリアフリーの推進が必要である。

○多くの人々が集散する県都・宇都宮の玄関口として，憩いの空間や魅力ある街並みの形成が必要である。

○集客施設の郊外移転や居住人口の郊外流出により，歩行者交通量は30年前の4割まで低下しており，賑わい創出のため，多様な機能集積や新たな拠点整備が必要である。

将来ビジョン（中長期）

中核都市・宇都宮に相応しい賑わいと高次な都市機能を備えた多様性のあるまち

○「宇都宮市都市計画マスタープラン」（H12.12/宇都宮市）

…広域都市圏の拠点都市としてふさわしい魅力ある地域となるよう、商業・業務・文化等の高度な都市機能の拡充強化を図るとともに、機能的な都市基盤や快適な生活環境の整備を推進する。

○「宇都宮市都心部グランドデザイン（～21世紀における都心部再生のシナリオ～）」（H14.8/宇都宮市）

…北関東，更には全国的なネットワークの拠点としての役割を担う地区と位置付け，新都市拠点として，「業務機能」，「情報機能」，「交通結節機能」の充実を中心に，新たに「コンベンション機能」，「産業支援機能」等の集積を図る。

○「JR宇都宮駅周辺整備計画」（H15.12/宇都宮市）

…国際，全国的な中枢機能及び広範な地域を対象とする質の高い高次な都市機能の導入を図り，中心地区とともに，関東北部の拠点都市にふさわしい新たな都市拠点の創造を目指す。

目標を定量化する指標

指　標	単　位	定　義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
宇都宮駅乗降客数	（人/日）	宇都宮駅の1日当たりの平均乗降客数	交通結節機能の強化を図ることで，宇都宮駅乗降客数を増加させる	70,000	平成14年度	72,000	平成22年度
今泉地域ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ年間利用回数	（回/年）	今泉地域ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ年間利用回数	賑わいのある地域の交流拠点を形成することで，地域住民の交流を増加させる	260	平成17年度	390	平成22年度
東大通り通行量	（人/日）	駅前に存する東大通りの歩行者交通量	快適な歩行空間の形成により東大通りの通行量が増加する	3,300	平成16年度	4,200	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1：交通結節点の整備 ○バス及びタクシーの利用快適性を向上を図るため，乗降場にシェルターやベンチ，公衆便所等を整備する。 ○駅利用者や来街者の円滑かつ快適な移動空間を形成するため，東西自由通路を整備する。 ○道路や駅前広場等の公共施設について，高品位な舗装や植栽等により，宇都宮の顔に相応しい景観を形成する。 ○高齢者や身体障害者など，あらゆる人が安全かつ安心な移動を支援するため，歩行者支援施設を整備する。 ○初めて来街した人も迷うことなく目的地に到達できるように，多言語標記やピクトグラム等を用いた分かり易い経路案内を行う。 ○交通結節機能の強化を図るため，自転車駐車場を整備する。 ○宇都宮駅東口地区に存する空閑地を活用し，都市拠点として相応しい都市環境の整備，新たな広域交流拠点の形成を図るため，土地区画整理事業を実施する。	○宇都宮駅東口駅前広場改築事業（シェルター，緑化フェンス）［基幹事業/高質空間形成施設］ ○宇都宮駅東口公衆便所整備事業［基幹事業/高質空間形成施設］ ○東西自由通路整備事業［基幹事業/高次都市施設］ ○道路整備事業（緑化フェンス）［基幹施設/高質空間形成施設］ ○駅前広場等整備事業（歩道舗装）［基幹施設/高質空間形成施設］ ○歩行者支援施設（エレベーター，エスカレーター）［基幹事業/高質空間形成施設］ ○公共サイン整備事業［基幹事業/地域生活基盤施設］ ○宇都宮駅東口自転車駐車場整備事業［基幹事業/地域生活基盤施設］ ○宇都宮駅東口自転車駐車場屋根整備事業［基幹事業/地域生活基盤施設］ ○宇都宮駅東口土地区画整理事業［関連事業］
整備方針2：地域・文化の交流拠点の整備 ○宇都宮駅周辺地区における文化振興の拠点となるよう，文化財建造物である旧篠原家住宅の修復を行う。 ○今泉地区の地域住民の相互交流を図るため，今泉地域コミュニティセンターを整備する。 ○若年層の中心市街地への定住を促進し，活力あるまちづくりを進めるため，若年夫婦世帯に対する家賃補助を行う。 ○市街地再開発事業の推進を図るため，専門的知識を有するコンサルタントを派遣し，民間に対して指導・助言を行い，事業化に導く。	○旧篠原家住宅修復事業［基幹事業/高質空間形成施設］ ○今泉地域コミュニティセンター整備事業［基幹事業/高次都市施設］ ○都心居住の促進［提案事業/地域創造支援事業］ ○再開発コンサルタント派遣事業［関連事業］
整備方針3：安心で安全な歩行空間の整備 ○安全かつ安心なまちづくりに向けて，防犯対策を実施する。 ○高齢者や身体障害者など，あらゆる人が安全かつ安心な移動を支援するため，歩行空間のバリアフリーを推進する。 ○自転車を都市内交通の一手段として位置付け，その特性を十分に活かした安全で快適なまちづくりを進めるため，自転車歩行空間の整備やカラー舗装化を行う。	○防犯対策事業（防犯カメラ設置）［提案事業/地域創造支援事業］ ○宇都宮駅西口広場改築事業［基幹事業/道路］ ○市道929号線道路バリアフリー事業［基幹事業/道路］ ○市道1525号線道路バリアフリー事業［基幹事業/道路］ ○道路整備事業（自転車歩行者専用道路）［基幹施設/高質空間形成施設］ ○市道1635号線改築事業（自転車空間のカラー舗装化）［基幹事業/道路］

その他

○地区計画により地区の景観を担保している。
○景観法に基づく景観形成重点地区を定め，美しく魅力的な都市景観の形成を図る。
○宇都宮市路上喫煙等による被害の防止に関する条例を制定し，地区内を路上喫煙等禁止区域とした。
○宇都宮市みんなでごみのないきれいなまちをつくる条例を制定し，地区内を美化推進重点地区とした。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,974.7	交付限度額	789.8	国費率	0.4

（金額の単位は百万円）

基幹事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
道路		宇都宮駅西口広場	宇都宮市	直	3,024㎡	平成18年度	平成18年度	平成18年度	平成18年度	52.5	52.5	52.5		52.5
		市道1635号線	宇都宮市	直	179m	平成18年度	平成18年度	平成18年度	平成18年度	3.5	3.5	3.5		3.5
		市道929号線	宇都宮市	直	270m	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	53.9	53.9	53.9		53.9
		市道1525号線	宇都宮市	直	190m	平成19年度	平成21年度	平成19年度	平成21年度	72.5	72.5	72.5		72.5
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		―			―									
地域生活基盤施設		―	宇都宮市	直	―	平成18年度	平成22年度	平成18年度	平成22年度	203.6	203.6	203.6		203.6
高質空間形成施設		―	宇都宮市	直	―	平成18年度	平成22年度	平成18年度	平成22年度	348.2	348.2	348.2		348.2
高次都市施設		―	宇都宮市	直	―	平成18年度	平成22年度	平成18年度	平成21年度	1,164.5	1,164.5	1,164.5		1,164.5
既存建造物活用事業		―			―									
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,898.7	1,898.7	1,898.7	0.0	1,898.7 …A

提案事業

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	（参考）事業期間 開始年度	（参考）事業期間 終了年度	交付期間内事業期間 開始年度	交付期間内事業期間 終了年度	（参考）全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
地域創造支援事業	都心居住の促進	計画区域内	宇都宮市	直		平成18年度	平成22年度	平成18年度	平成22年度	50.9	50.9	50.9		50.9
	防犯対策事業	宇都宮駅駅前広場等	宇都宮市	直		平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成20年度	25.1	25.1	25.1		25.1
														0.0
														0.0
事業活用調査		―			―									0
		―			―									0
まちづくり活動推進事業		―			―									0
		―			―									0
合計										76.0	76.0	76.0	0.0	76.0 …B
													合計(A+B)	1,974.7

（参考）関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	（いずれかに○）直轄	補助	地方単独	民間	事業期間 開始年度	事業期間 終了年度	全体事業費
宇都宮駅東口土地区画整理事業	川向町，東宿郷1丁目　他	宇都宮市	国土交通省	7.3ha		○			平成17年度	平成21年度	1,877.0
再開発コンサルタント派遣事業	宇都宮駅西口第4B地区	宇都宮市	国土交通省	0.3ha			○		平成18年度	平成18年度	3.0
宇都宮水戸線　築瀬立体整備事業	宇都宮水戸線	栃木県	国土交通省	861m		○			平成12年度	平成28年度	11,000.0
合計											12,880.0